

大正元年

福島高等女学校校歌

雲を凌ぎてそそり立つ
 吾妻の山は動きなき
 すめらみ国の姿なり
 すめらみ国の姿なり
 流れたえせず大御代の
 嬉しき瀬にも逢隈は
 すすみゆく世の鏡なり
 すすみゆく世の鏡なり
 堪えぬにたえて信夫山
 巖に立てる姫松は
 ただしき操の例なり
 ただしき操の例なり
 斯くも尊き天地の
 おのづからなるみ教を
 受くる我等の楽しさよ
 受くる我等の楽しさよ
 動かぬ山の心もて
 たえぬ流れとすすみつつ
 松の操を守らなむ
 松の操を守らなむ

昭和二十六年

福島女子高等学校校歌

草野心平 作詞
 清水脩 作曲
 一 信夫山 松と桜の
 阿武隈は 銀のさざなみ
 学び舎は 古き歴史と
 新しき夢に
 夢にあふるる 福島 福島
 吾等が母校 ああ女子高校
 二 玻璃窓にうつる吾妻の
 その白き雪のはだえよ
 美をねがい 真を求むる
 むねぬちは あつく
 あつく波打つ 福島 福島
 吾等が母校 ああ女子高校
 三 紫の 春のかけろう
 赤と黄の 秋のみみじ葉
 休みなく 集いて吾等
 光ある道を
 道をつくらん 福島 福島
 吾等が母校 ああ女子高校

平成十五年

福島県立橘高等学校校歌

宗 左近 作詞
 三善 晃 作曲
 夢の光 光の夢
 曙 瞳 曙
 ここ 故郷 福島
 愛の宇宙 宇宙の愛
 愛が宇宙を 宇宙が愛を
 どうして裏切ることがあろうか
 生れでる白い光の花 橘高等学校
 青空 真昼 真昼 青空
 ここ 噴水 福島
 祈りの雲 雲の祈り
 祈りが雲を 雲が祈りを
 どうして噴きあげないことがあろうか
 咲き出る未来 前衛 橘 ああ わたしたち
 夕映え 暎 夕映え
 さあ 開く 星月夜
 夢の光 光の夢
 夢が光を 光が夢を
 どうして生み出さないことがあろうか
 おお 曙 青空 星月夜 わたしたち
 夢の光の 光の夢の 宇宙の花